



学校便り
No. 10

万里一空

令和6年7月19日(金)

文責：池田 誠

明日から夏休みです。保護者や地域の皆様のご協力により、子どもたちが健康・安全に1学期を終えましたこと、深く感謝申し上げます。

さて、前号でも夏休みの過ごし方について触れましたが、本日の終業式でも同じ話題について取り上げましたので紹介します。

環境が変わるときが成長のチャンスです



終業式では「働きアリ」の話を子どもたちにしました。

みなさんは、小さな昆虫のアリは知っていますね。アリにもいろいろな種類がありますが「働きアリ」という名前を聞いたことがありますか。

この働きアリについて、面白い研究をした大学の先生がいます。先生は働きアリを観察していて、あることに気づいたそうです。それは、名前は働きアリなのに全然働かないアリがいるということです。

それで先生は、働かないアリだけを集めて観察したそうです。そしたらどうなったと思いますか。働かないアリばかりを集めたのですから、どのアリも働かないと思いますよね。ところが、働かないアリだけ集めたのに、そのうちの何匹かは働くようになるのです。面白いですね。

そこで、今度は働くアリだけ集めて観察してみたそうです。どうなったと思いますか。そう、皆さんが想像したとおり、働くアリばかり集めたら、今度はその中の何匹か働かなくなったそうです。

この観察の結果、大学の先生は2つのことが分かりました。1つ目は「働かないアリも、働く力も持っている。」 2つ目は「まわりの生活がガラッと変わると、働かないアリが働き始めたり、働くアリが働かないようになったりする。」ということです。

アリと人間を簡単に比べることはできませんが、このアリと同じようなことを、今までにたくさん校長先生は見てきました。例えば「今まであまり仕事に積極的でなかった子どもが、急に仕事をするようになったり、その反対だったりすることです。」

このことから、実は、みなさんには元々いろいろな力が備わっていて、その力は誰でも出すことができるし、出さないこともできるのではないかと思います。働かなかったアリが急に働くようになったことと同じです。さて、明日から夏休みです。「まわりの生活がガラッと変わります。」学校が休みですから、決まった時間に登校しなくていいですね。時間割もありません。また、担任の先生やクラスのお友達ともあまり会いませんね。

まわりがガラッと変わる夏休みだからこそ、今までにない自分の力がだせるチャンスでもあるのです。この夏休みを有意義に過ごして、いろいろな力を身につけてくださいね。

みなさんがますます立派になって登校することを、校長先生は楽しみにしています。

子どもたちにとって、周りの環境が大きく変わる夏休みです。大人の世界でも環境の変化によって、元々備わっていた潜在能力が開花したという話をよく聞きます。

様々な体験から、子どもたちの潜在能力や可能性がどんどん現れてくる夏休みになることを切に願っております。

そして、2学期の始業日には、「夏休みは、～をがんばれたよ。」「夏休みは、～に挑戦したよ。」「夏休みは、～ができるようになったよ。」という子どもたちの声が溢れていることを期待しています。



有意義な夏休みになりますように。